

福島県社会福祉事業団

まじいる

2019 Vol.75

表紙写真：南湖公園の紅葉(白河市)



理事長あいさつ

社会福祉法人福島県社会福祉事業団

理事長 太田 健三

初冬の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度の最重要課題の一つである「福島県浪江ひまわり荘仮施設」の建設については、実施設計が完成したところであり、令和二年度末の竣工に向け、建設工事等が順調に進むようさまざまな準備をして参ります。また、福島県では「太陽の国あり方実行計画」に基づき、老朽化した指定管理施設である「福島県けやき荘」及び「福島県かしわ荘」の建替に向けた計画が進行中でございます。当事業団は、指定管理者の立場で、引き続き、福島県との連携を深めて参りたいと考えております。

次に、今年も「台風十九号」による災害をはじめ、多くの災害が発生しました。ここ数年、発災のたびに「想定外」や「これまで」に経験のない」とい言葉を目にします。当事業団は、平成十年の豪雨災害と平成二十三年の「東日本大震災」の二度の被災経験がありますが、それ以上の災害にも備える必要があるものと考えます。これまで、防災訓練による検証と、防災体制の見直しに取り組んで参りましたが、改めて想定外を念頭に置き、なお一層の対策を進めて参りたいと考えております。

最後に、当事業団は、創立五十年を超える歴史ある法人であり、積み重ねた実績を踏まえ、お客様の「安全・安心」を第一に考えるとともに、地域ニーズに基づき事業を多角的に模索し、法人としての責務を果たして参る所存でございますので、今後とも皆様には御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

災害に対する地域貢献

福島県災害派遣福祉チームの派遣協力

今年10月の台風19号豪雨で甚大な被害を受けた、いわき市と郡山市の避難所へ、福島県から「福島県災害派遣福祉チーム員」の派遣要請があり、福島県ひばり寮から主任援助員の今井陽介さんと福島県きびたき寮から援助員兼サービス管理責任者の小林智子さんの2名を派遣しました。

今井さんは、11月6日から8日までいわき市の2カ所の一般避難所に入り、小林さんは11月11日と13日に郡山市の8カ所の一般避難所に入りました。それぞれの避難所では、既に活動している保健師チーム等と連携し、避難所内の福祉ニーズの把握や要配慮者からの相談対応、さらに避難環境の整備(福祉的な課題の解消など)に取り組んできました。



D-WAT 福島県チーム
きびたき寮 小林智子さん (左から2番目)



避難所巡回後のチーム活動報告・ケース検討会議



避難所でのスクリーニング

太陽の国防災倉庫への県災害用備蓄物資受入



太陽の国管理センター

平成31年3月、太陽の国管理センター1階の防災倉庫に県災害用備蓄物資を受け入れました。

受入の経緯としては、県中地区の備蓄物資保管先が工事に入るため、代替場所として事業団に要請があったものです。

物資の内容は、備蓄米、飲料水、紙おむつ、ウェットティッシュ、生理用品です。使用については、①災害発生時に避難者に提供する場合②保管場所が避難所として開設する場合③県外で大規模災害が発生し、物資を輸送する場合④県の総合防災訓練等、防災イベントで配布する場となります。なお、今年10月の台風19号では、被災地である南相馬市に向けて、備蓄物資の中から飲料水が輸送されました。

平成

平成元年
(1989)

創立30周年 記念事業を実施

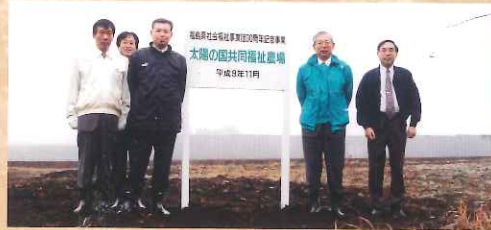


太陽の国(平成初期)

平成9年
(1997)



中畑 清さんと共に



太陽の国福祉農場開き

平成10年
(1998)

8月27日
太陽の国で集中豪雨による土砂災害発生



平成11年
(1999)

天皇后陛下下行幸啓
(太陽の国・ひまわり荘)

小淵首相と羽田元首相が
被害状況調査のため太陽の国訪問



事務局を太陽の国に移転(平成16年)

天皇后陛下下の太陽の国御訪問

平成23年
(2011)

3月11日 東日本大震災発生



浪江ひまわり荘仮施設設完成



西郷桜まつりを太陽の国で開催

令和元年
(2019)



事業団の昭和と平成振り返り



今年、5月1日に新天皇陛下が御即位され、新たな時代「令和」が始まりました。
この機会に福島県社会福祉事業団の「昭和」「平成」の主な出来事など、当時の姿を
写真を通して振り返ります。

昭和

昭和42年
(1967)

事業団の設立

矢吹更生寮、ばんだい学園、
飯坂特別養護老人ホーム、
浪江救護院などの経営を受託



ばんだい学園



白梅荘

昭和48年
(1973)

総合社会福祉施設
「太陽の国」の建設開始



太陽の国(昭和50年代)

昭和53年
(1978)

太陽の国の歌「明日も太陽があるから」の寄贈



かえで荘建設中(昭和54年)



事務局を福島市渡利に移転(昭和51年)



秩父宮妃殿下が飯坂特別養護老人
ホームを御視察(昭和53年)

作詞：小山由紀夫氏、作曲：古関裕
而氏の太陽の国の歌「明日も太陽
があるから」が、昭和53年、事業
団に寄贈されました。
(古関氏はNHKの2020年度
前期連続テレビ小説「エール」の主
人公のモデルです。)



昭和59年
(1984)

ひばり寮の完成をもって
太陽の国の施設建設終了



役員紹介

職名	氏名	役職
理事長	太田 健三	一般財団法人太田総合病院副理事長
副理事長	鏡 敬文	専任
常務理事	穂積 富知雄	福島県社会福祉事業団事務局長
理事	高橋 廣志	西郷村長
理事	竹之下 誠一	公立大学法人福島県立医科大学 理事長兼学長
理事	今野 静	公益社団法人福島県看護協会 会長
理事	戸田 光昭	福島県保健福祉部長
監事	有賀 秀晴	(有)有賀会計センター代表取締役
監事	本田 陽子	学識経験者

評議員紹介

氏名	役職
安藤 保寛	福島県南保健福祉事務所 健康福祉部長
大橋 勝男	白河市社会福祉協議会常務理事 兼事務局長
小木 政夫	一の又行政区代表
熊川 恵子	福島県社会福祉協議会事務局長
鈴木 且雪	西郷村教育委員会教育長
鈴木 正	白河市保健福祉部長
高阪 泰二	上野原下行政区代表
中山 隆男	西郷村社会福祉協議会常務理事

平成30年度 事業報告

プレハブ施設での避難生活を続けている「福島県浪江ひまわり荘」については、狭隘な居住環境での生活により、お客様の身体機能の低下等が危惧されてきたことから、太陽の国敷地内に福島県浪江ひまわり荘仮施設を建設することを決定し、令和2年度末の竣工に向け、建設場所や設計業者を選定した。

また、県の指定管理施設である「福島県けやき荘・福島県かしわ荘」の改築については、平成31年度に基本設計及び実施設計が作成されるため、指定管理者としてサービスを提供する立場から、お客様が安心して生活できる施設づくりに向け、県と協議を重ねた。

次に、事業団中長期経営計画については、後期計画5年間の初年度に当たることから、計画の進捗状況と課題等を再度確認し、目標として掲げた「良質な福祉サービスの継続的・安定的な提供」と「経営基盤の更なる強化」に向け、今後の活動について一層の強化を図った。

更に、法人運営の根幹をなす「人材の確保・育成」については、各種研修の充実や資格取得支援の強化により職員のキャリアアップを促進するなど、専門性の高い職員の育成に努めるとともに、次世代を担う優秀な人材を確保するため、学校訪問や職場見学会などの機会を通じて事業団の魅力を積極的に伝えるなどし、新採用職員12名を確保することができた。

一方、地域貢献については、「福島県被災地介護施設再開等支援事業」により、引き続き相双地区の福祉施設へ職員を派遣するとともに、県と締結した「福祉避難所への福祉・介護人材の派遣に関する協定」に基づき、職員を登録するなど、その役割を果たした。また、地域共生社会の実現に向けた「地域づくり」の一つとして、太陽の国交流センター(旧太陽の国厚生センター)を活用した自治体との連携事業を実施するため、福島県や西郷村との協議を重ねた。

以上のように、老朽化した自主運営施設の改築資金の造成などの課題はあるものの、平成30年度の事業運営は概ね順調に推移し、収支状況としては内部留保が可能となった平成18年度から、13年連続で黒字決算を達成することができた。



平成30年度 決算報告

貸借対照表

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	1,639,521,007	流動負債	657,138,752
		固定負債	759,209,007
固定資産	6,129,615,443	負債の部合計	1,416,347,759
		純資産の部	
基本財産	2,282,885,737	基本金	10,000,000
		国庫補助金等特別積立金	1,532,167,330
		その他の積立金	2,741,579,208
その他の固定資産	3,846,729,706	次期繰越活動増減差額	2,069,042,153
		(うち当期活動増減差額)	353,322,372
		純資産の部合計	6,352,788,691
資産の部合計	7,769,136,450	負債及び純資産の部合計	7,769,136,450

資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目		決算額
大区分		
事業活動による収支		
	事業活動収入計	5,585,585,441
	事業活動支出計	5,274,046,488
	事業活動資金収支差額	311,538,953
施設整備等による収支		
	施設整備等収入計	46,000
	施設整備等支出計	79,464,999
	施設整備等資金収支差額	△79,418,999
その他の活動による収支		
	その他の活動収入計	78,960,293
	その他の活動支出計	234,867,423
	その他の活動資金収支差額	△155,907,130
当期資金収支差額合計		76,212,824
前期末支払資金残高		1,216,449,653
当期末支払資金残高		1,292,662,477

事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目		決算額
大区分		
サービス活動増減の部		
	サービス活動収益計	5,553,704,148
	サービス活動費用計	5,380,688,698
	サービス活動増減差額	173,015,450
サービス活動外増減の部		
	サービス活動外収益計	31,881,293
	サービス活動外費用計	6,917,778
	サービス活動外増減差額	24,963,515
経常増減差額		197,978,965
特別増減の部		
	特別収益計	155,345,224
	特別費用計	1,817
	特別増減差額	155,343,407
当期活動増減差額		353,322,372
繰越活動増減差額の部		
	前期繰越活動増減差額	1,871,626,911
	当期末繰越活動増減差額	2,224,949,283
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	70,576,000
	その他の積立金積立額	226,483,130
	次期繰越活動増減差額	2,069,042,153

「事業報告」及び「決算」についての詳細は、
福島県社会福祉事業団ホームページ
(www.fukushima-sj.jp)の
情報公開ページでご覧頂けます。



太陽の国交流センター (旧) 太陽の国厚生センター

「太陽の国交流センター」は、地域の皆様が地域交流を推進する資源の1つとして活用していただくため、平成31年4月から名称を改め新たなスタートを切りました。



地域の皆様の活動拠点としてお気軽にご利用ください!

絵画ギャラリー 「四季の会」開催!



認知症カフェ 「さわやか高原森のカフェ」 OPEN!



ご利用案内

太陽の国交流センター



- ◆ご宿泊
和室:7室 洋室:2室
- ◆会議・研修・休憩等
研修室または和室
利用時間 9:00~21:00

福島県勤労身体障がい者体育館



- ◆定休日
毎週火曜日・祝祭日
- ◆利用時間
8:00~22:00
フットサルの利用もOKです!

ボランティア募集

事業団では、多様なボランティアを随時募集しています。

お話し相手・習字・音楽演奏・イベントスタッフ・環境整備など活動内容は様々です。
興味はあるけれど何をしたらいいかわからない方も、お気軽にご連絡ください。



動物ボランティア

このページに関する
お問い合わせ

事業管理部 施設事業課

☎ 0248-25-3020



まごころ 2019/VOL.75

発行 社会福祉法人福島県社会福祉事業団
福島県西白河郡西郷村大字小田倉字上上野原5-3
TEL 0248(25)3100 FAX 0248(25)4659
URL <http://www.fukushima-sj.jp>
発行日 令和元年12月3日